



シニアプレミアム 新春号

Smart senior council Kyushu

2024年1月1日

一般社団法人九州賢人会議所

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-9-28 福岡商工会議所ビル1F

TEL : 092-451-8610 FAX : 092-451-8612

E-mail: kyushu@kenjinkaigisho.com URL <http://www.kenjinkaigisho.com>



皆様、新年あけましておめでとうございます。

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

さて、当所は今年、設立10周年を迎えます。10年間の活動と現在の高齢化社会、今後の情勢変化を念頭に当会議所の役割を以下4点を挙げさせていただきます。

- ①高齢者の生きがいがづくりに資すること。
 - ②高齢者が長年醸成してきた知識や経験をベースに社会貢献に資すること。
 - ③年齢をほぼ同じくし人生やスポーツなどを共に楽しむ仲間と出会い、生きがいや共感を分かち合う機会を創出すること。
 - ④高齢者であるが故の心情的、肉体的な課題や問題を相互に開示・共有する仲間として、相互に認識を持ち貴重な情報交換ができること。
- 10年間活動に取り組んでこれらを肌で感じる機会をたくさん持てましたし、こうした取り組みは今後も会員相互の生きがい向上に寄与できるものと思います。引き続き精力的に活動に取り組み、日本社会全体の活性化に向け、皆様と一緒にその一翼を担っていきたくと思います。今年も大いに楽しみ、会員拡大に向けて進んでいきましょう。 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。 会長 松尾 新吾



賢人会議所10周年の新年を寿ぎお祝い申し上げます。

賢人会議所は、長寿社会において、キャリアを積んだシニアが、いかなる人生を送ろうとするのか。

そのシニアの目線の先に何を描こうとするのか。

我々は「社会から支えられる立場から支える側に」を基本コンセプトと確認して、この事業のスタートとした。

夢は「デッカク」で聳え立つ高さであった。

その中でも今後も取り組みたい柱となる社会的事業がある。

1：5月4日「緑の日」は「賢人の日」の制定促進

(昭和天皇誕生日に由来する)

2：高齢者定義の見直し運動。80初期、90中期、100以降を 後期高齢者。

3：創業一人一業のススメ。

キャリアビジネスネットワーク、シニアボランティアネットワークの設立等であった。

10周年を契機に推進する事業として提案したい事業は、

1：社会課題を提言し望ましい社会の実現を目指す「賢人会議の開催」

2：九州各県への賢人会議所の設立促進。

3：身体障害者・認知症・高齢者による生きがいがづくりのコラボ事業等である。

尚、10周年の記念事業として、日本賢人会議所との連携・交流事業の実現に努めたいと思います。

理事長 小早川 明德





生き甲斐創り事業部会

部会長 芦塚 日出美 (株式会社博多座 元代表取締役社長)

高齢者が生き生きと社会参画できる社会の実現を目的とした活動に取り組むと共に、自分自身の能力や感性を磨くために美術や音楽、芸能文化等に直接触れて「心の栄養」を吸収し、シニアに文化的な楽しみが提供できる「場」創りに取り組んでいきたいと思っております。

健康創り事業部会

部会長 原 寛 (社会医療法人原土井病院 理事長)

生活習慣の改善による健康創りを提唱する「元気100倶楽部」と連携で健康体を維持するための「健康長寿フェア」と「定例会」等で学びと実践の「場」を提供した「健康長寿活動」に取り組んでいます。



学びの場創り事業部会

部会長 大内田 勇成 (株式会社ウエストホールディングス 元最高顧問)

学びの場を広く提供するため、当事業部会の趣旨に賛同・理解を寄せ公共教育施設や社会福祉施設等と連携するとともに、会員相互の協力を得ながらモデル事業を開発していく柔軟な取り組みをモットーとしています。また会員拡大の推進力となるよう、会員相互の情報交換や親睦を深める場として「福岡の歴史を楽しく学ぶ」活動を行っています。

社会環境創り事業部会

部会長 大野 太三 (丸三工業株式会社 代表取締役会長)

高齢者が社会で活躍し得る環境創りのために、高齢者雇用を取り巻く環境などの実態調査や企業の動向調査などを行い、。独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構と連携した活動を行っています。



次世代創り事業部会

部会長 右田 喜章 (株式会社ホークスタウン 元会長)

高齢者が持つ、知識、経験、技術を次世代に伝承する諸活動を目的とし、①青少年・学生事業の支援、②歴史、伝統及び精神文化の継承、教育のための次世代人材育成事業の推進、③社会・行政に対する“次世代創り”の提言の実施を三つの柱として活動しています。

国際社会との連携事業部会

部会長 大霜 洋 (九州スタッフ株式会社 代表取締役会長)

進化する国際社会においては、高齢者の海外交流も現代の要件となっています。特に東南アジア諸国との交流・親睦を深めるための研修・視察旅行を企画、実施し、リアルタイムでの生きた情報収集を楽しんでいます。



農業再生支援事業部会

部会長 真田 彬 (有限会社ピーアンドピー 代表取締役会長)

農業が直面する課題を解決するための支援を行うことを目標の柱とし、産地を知るための勉強会や意見交換会、さらには、食を通じた交流、産地巡り、美味しい旅も計画しています。

例会委員会

委員長 井手 和英 (筑邦銀行 元頭取)

例会委員会では、各部会を横でつなぐために月1回時宜に応じた勉強会を開催し会員同士の全体の和を創り一体感創りに貢献しています。各部会を超えた会員同士のつながりの場を提供しています。

